

DC-AC インバータ使用時の接地方法について


2017年7月発行
株式会社 電菱

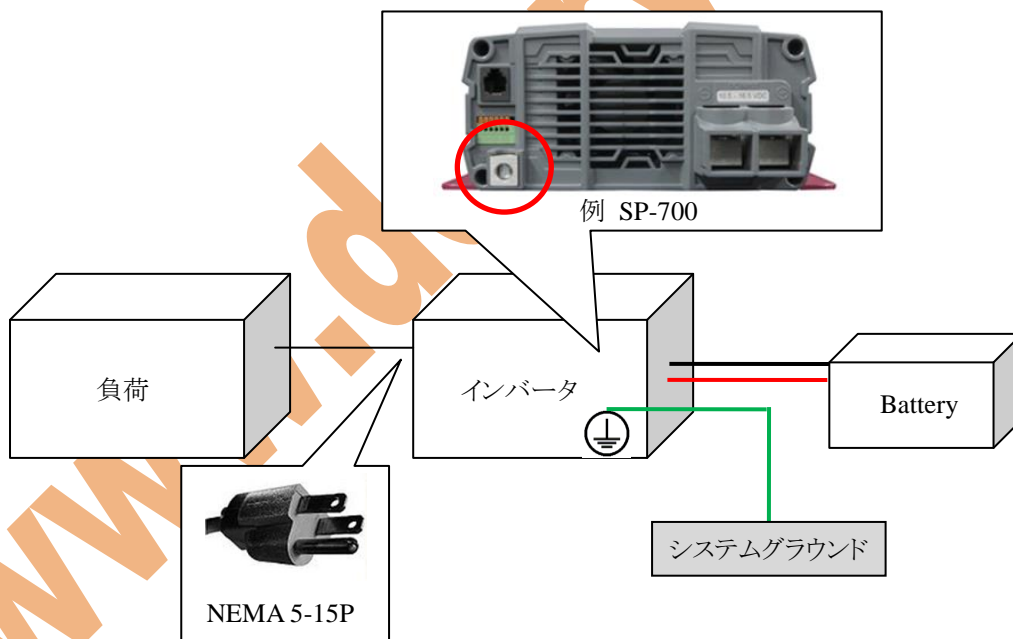
1：はじめに

DC-AC インバータを使用する際の接地方法はシステムによって異なります。本書ではシステムに応じた接地方法について説明します。

2：負荷(AC)側を接地する場合

2-1. 負荷のプラグがアース付きの3芯タイプ (NEMA 5-15P) の場合

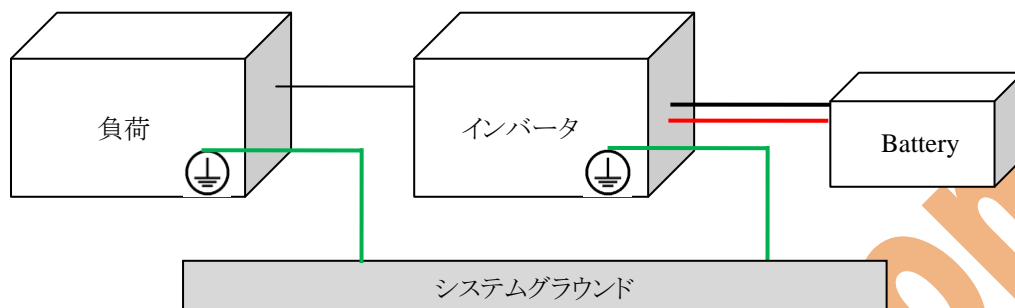
プラグを DC-AC インバータにそのまま接続し、インバータのアース端子またはシャーシグラウンド端子 (IEC 60417-5019 マーク  の記載がある端子) をシステムグラウンドに接続してください。インバータを接地しないと、負荷も接地されませんのでご注意ください。



負荷プラグが NEMA 5-15P 時の負荷接地接続例

2-1. 負荷から接地用配線が出ている場合

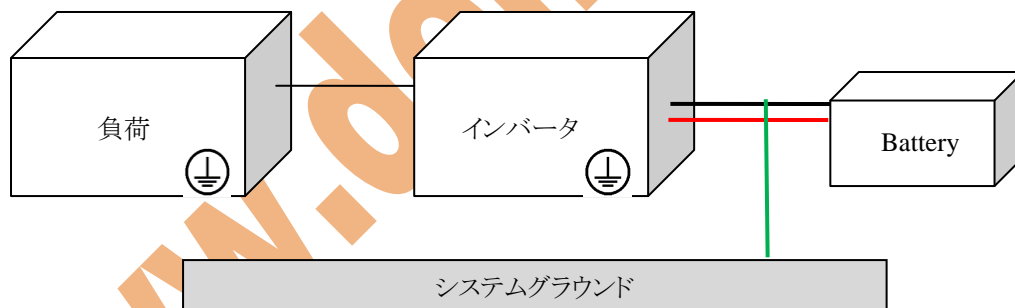
負荷の接地用配線をシステムグラウンドに接続してください。DC-AC インバータの接地が必要な場合は別途インバータのアース端子またはシャーシグラウンド端子をシステムグラウンドに接続してください。



負荷に接地用配線がありインバータも設置する場合の接続例

3 : バッテリー(DC 側)を接地する場合

バッテリー(DC 側)を接地する場合、バッテリーのプラスマイナス片方をシステムグラウンドに接続してください。負荷やインバータのアース端子またはシャーシグラウンド端子を同じシステムグラウンドに接続すると、AC 側とDC 側の絶縁が維持できない場合があるため、ご注意ください。



バッテリーマイナスを接地する場合の接続例